

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	3	入居者の日々の生活の中で、「今日は、何をしたいか。」確認の声掛けが上手くできていない。特に、無口な入居者に対してゆっくりと話ができていない。	入居者全員と対話をする時間を作り、各々の要望を聞き取り、職員間で共有する。	朝食後「今日何がしたいか」聞き取りの時間を作る。	6 か月	
2	11a	入居者を介護される一方の立場に置いてしまうことがある。	入居者のできる事は、自主的にしてもらう。入居者同士が話をして共同で作業ができる環境の場を作る。	入居者の間に職員が入り、気遣い、励ましの声かけをしながら一緒に同じ作業をしてもらう。	6 か月	
3	13a	日常的な外出の支援ができていない	外出の機会を確保する。	ドライブの計画を増やし気分転換を図る。家族の協力を得て外出機会を作ってもらう。天気の良い日は、グループ毎に1階へ移動し遊歩道に出て、外気に触れるよう努める。	6 か月	
4	14a	毎日の生活の中で、各々のレベルに合った余暇活動ができる体制を作る。	毎日の余暇活動を楽しむ。	1週間の余暇活動を計画し、時間の工夫、準備物の用意をしておく。取り組み中は、職員が声かけしながら一緒に時間を過ごすようにする。出来上がったものは個別ファイルに綴じて管理する。	3 か月	
5	14b	現日常生活の中で、筋力低下症状が観られる。	各々の身体機能レベルの把握をしながら、各々入居者に適した動作を検討して身体機能の維持を図る。	手すりを持つての立位練習、歩行(散歩、一日の歩数を延ばす。身体を使ったレクリエーションをする。等)上手に声かけしながら活動的な時間の確保をする。	3 か月	
6	18b	毎日の生活の中で、食後の口腔ケアの声掛けし、歯磨き、義歯の洗浄の支援はできているが、虫歯、歯周病等の把握ができていない。	家族に連絡した上で、歯科医の定期的な往診を受け、職員が把握ができるよう支援する。	毎月実施している歯科医による口腔ケア研修に参加し、知識を得る。入居者に対して、上手に声かけをして、食後の歯磨き、口腔内の状態が少しでも把握できるように支援する。	3 か月	

注1) 項目番号の欄については、自己評価項目のNo.及び小項目のアルファベットを記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

(別表第1の5)

### サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】	
実施段階	取り組んだ内容 (↓該当するものすべてに○印)
1 サービス評価の事前準備	<input type="radio"/> ①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
	<input type="radio"/> ②利用者へサービス評価について説明した
	<input type="radio"/> ③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
	<input type="radio"/> ④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
	<input type="radio"/> ⑤その他( )
2 自己評価の実施	<input type="radio"/> ①自己評価を職員全員が実施した
	<input type="radio"/> ②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
	<input type="radio"/> ③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
	<input type="radio"/> ④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
	<input type="radio"/> ⑤その他( )
3 外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/> ①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
	<input type="radio"/> ②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
	<input type="radio"/> ③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
	<input type="radio"/> ④その他( )
4 評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/> ①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
	<input type="radio"/> ②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
	<input type="radio"/> ③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
	<input type="radio"/> ④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った (3月13日(木)運営推進会議)
	<input type="radio"/> ⑤その他( )
5 サービス評価の活用	<input type="radio"/> ①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
	<input type="radio"/> ②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
	<input type="radio"/> ③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
	<input type="radio"/> ④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
	<input type="radio"/> ⑤その他( )